



- ●竹富町の観光振<mark>興</mark>の方向性をわかりやすく周知・ 共有すること
- ●観光による経済効果がより大きく町全体に行き渡る 取組みが必要なことを、観光業に携わっている方にも そうでない方にも伝えること
- ●町民、事業者、行政、観光客など、竹富町の観光に関わる様々な人と一緒に、「持続的な観光まちづくり」を考える足がかりにすること







竹富町の地域経済の中軸を担う観光産業について、5カ年の観光振興の方向性を示した計画であり、 「竹富町観光立町宣言」を実現するための具体的な施策を示しています。

を決意し、ここに

「竹富町観光立町

幾度も訪れてい りと笑顔と真心でお迎えします。

ただける『南の島』

人が主役となって

【日本最南端の町】沖縄県竹富町

私たちは、島々の多彩な個性を活かし たちが育んできた文化を、 ちとともに大切に守ります。 内外から訪れるお客様を、島人の誇 豊かな自然の恵みと、先人 感謝の気持

私たちのかけがえのない 私たち日 る生活を、 るまちづくりを通して、 島人も旅人もともに幸せになれ 本最南端に住む竹富町民は 子孫の代まで受け継ぐこと ·観光立町宣言 島の宝を守り

#### 竹富町の観光の現状

- ・町人口の約200倍の観光客が訪れる。
- ・島ごとに観光に関する課題が異なる。
- ・町内での経済循環が弱く、観光が地域にもたら す経済波及効果が小さい。
- ・観光産業のみではなく、町内全般に関わる課題が多い。







#### これからの 観光振興の方向性

現状、課題を分析し、4つの方針と33個の施策にまとめました。

- 1「責任ある観光」の構築
- 2 観光による経済波及効果の増幅
- 3 観光と、自然・暮らしとの両立の推進
- 4 観光の観点から見た町内全般の課題解決



# 本計画の体系図

前提となる考え:「竹富町観光立町宣言」

基本理念:島の個性を保全・継承する持続的な観光まちづくり

基本方針:島の個性を縦糸、観光立町宣言を横糸として

織り成す竹富町の観光振興

拖策 方針	項目	施策内容
①「責任ある観光」 の構築	竹富町ブランド「責任ある観光」の確立	責任ある観光を醸成するキービジュアルの検討と浸透 責任ある観光を育む良質なサービスの提供
	竹富町ブランド「責任ある観光」の持続化	責任ある観光に最適化されたプロモーションの実施 自然環境への負荷のモニタリング 来訪者及び町民等の観光に関する動向の把握 多様化する来訪者への対応
	島間での協働・参画	観光産業における長期視点に立った人材育成 島ごとの観光の方向性に関するコミュニケーションの促進
②観光による 経済波及効果 の増幅	観光事業者における町内調達の促進	共益が見込まれるサービスの拡充 経済連関を意識した事業・施策展開の啓発 事業者マッチング支援
	町外調達産業の内製化に向けた検討	課題解決に向けた調査や意見・提案の聴取 観光との連携が見込まれる産業の育成・維持支援
③観光と、自然	自然環境の保全・活用	自然体験がイドの人材育成 全町における各種自然保護関係法令の遵守 観光による自然環境への負担軽減
・暮らしとの	文化の保全・活用	文化的資源の整備・保全と観光での活用
両立の推進	観光インフラの最適化	適切な箇所へのトイレ・ゴミ箱等の拡充 適切なエリアのインターネット環境の維持・向上
	文化、暮らしのコンテンツの観光への活用	文化、暮らしを学ぶ観光コンテンツの充実
	交通	町交通政策と連動した既存移動・運輸手段の改善 適切な箇所の駐車場・待機場所等の拡充
	第 1 次産業(農畜水産業)	農畜水産分野と観光分野が連携する農観連携、観光側から見た6次産業化の推進
	第2次産業(製造・加工業)	産業連関を前提とした第1次産業や第3次産業との「掛け算」の推進
④観光の観点から	雇用	必要に応じた雇用の平準化
見た町内全般の	住環境	産業の持続化に向けた住環境整備の促進(土地の確保、住居整備)
課題解決	財源の確保	費用負担制度の推進(試制税等の収受制度の確立・運用支援) ふるさと納税の新たな活用
	安全・安心	離島医療体制の周知 来訪者への防災危機管理における官民連携のあり方の検討
	人材の確保、育成	繁閑に応じた他地或との事業者間交流(ワークシェアリング)等の支援 第三者承継を含む事業承継に向けた支援、事例調査等
	町内 DX の推進	町民向けインターネット環境整備の促進

## 計画策定の目的は?

観光産業は、竹富町の地域経済の中軸を担う重要な産業ですが、オーバーツーリズムや地域振興との乖離など、様々な課題への対応が必要です。本町の5か年の観光振興の方向性を示すために策定された本計画では、観光振興と町民生活や自然環境の保全の両立はもちろん、観光による経済効果が町内へ行き渡ることを目指しています。(計画期間:2023年4月~2028年8月)

#### 推進体制のイメージ

立町宣言及び本計画について、 町内全体で広め、全町一体と なって計画を運用します。





#### 町内の経済循環を高める

竹富町は、モノやサービスを外に販売している金額よりも外から購入している金額 が高く、外に流出しているお金が大きいです。

> 町外に販売している モノやサービス 約 177 信円

町外から購入する モノやサービス

約 224 億円

町外に 流出しているお金 約**47億**円



町内の経済循環を高めることは、 町内の観光業だけではなく、 それ以外の産業を振興させることとなります。 町外に流出するお金を減らし、 町内での調達率を上げる取組みが必要です!



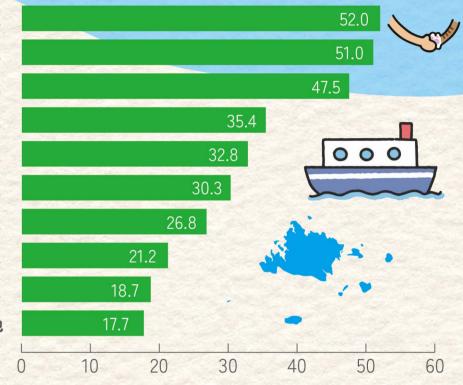
参照:H28 竹富町産業関連表

## 町民アッケート

#### 竹富町に住み続ける条件

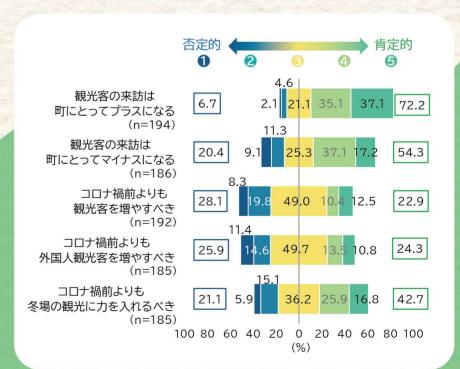
「自然環境が保全されていること」が最も多く、「安定した仕事」、「地域との繋がり」の項目が続いています。来訪者への観光満足度調査においても、「自然・ 景色」に対する満足度が一番高いです。今後も継続して自然環境保全に取り組みます。

自然環境が保全されていること 安定した仕事があること 地域との繋がりがあること 伝統文化が継承されていること 子育て環境が充実していること 交通インフラが整備されていること 福祉環境が充実していること 教育環境が充実していること 防災環境が充実していること たの他



# 観光に対する考えについて

観光客の来訪に関するイメージや観光客増の推進については、多くの方が長短両面を感じており、単純に観光客を増やすことは、町民の生活満足度をさげる可能性が高いと考えられます。





#### 竹富町の

## 観光を考える水

①「責任ある観光」 の構築 ②観光による 経済波及効果 の増幅

③観光と、自然 ・暮らしとの 両立の推進

④観光の観点から 見た町内全般の 課題解決

竹富町観光振興基本計画は HP でご覧になれます。

〇、竹富町観光振興基本計画 検索

「責任ある観光」の Web サイトもご覧ください。

〇、 竹富町 責任ある観光

検索







自然観光課

電話:0980-83-1306

E-mail: sizenkanko@town.taketomi.okinawa.jp

令和6年3月